

長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業

プログラム実施校の募集について

長野県県民文化部文化振興課

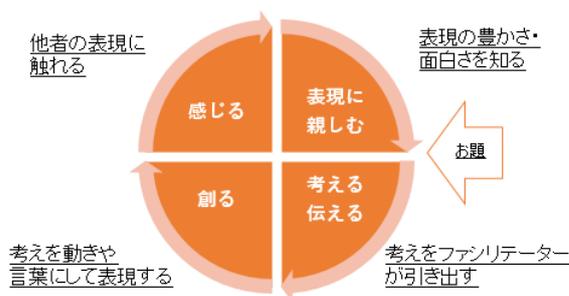
長野県教育委員会事務局学びの改革支援課

1 趣旨

県内で演劇やダンスなどの表現活動などを行っているファシリテーター等を学校へ派遣し、児童生徒のコミュニケーション能力や表現力、創造力等を育むことができる「表現とコミュニケーション」プログラムや美術作品をみながら、発見や感想、疑問などを交わしあう「対話を通した鑑賞」プログラムによるワークショップを通して、教員が子どもの発想を活かし育てる活動を学校に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に生かすことができるように、プログラム実施校の募集をします。 ※各プログラムの内容は、別添リーフレットをご覧ください。

<表現とコミュニケーションプログラム>

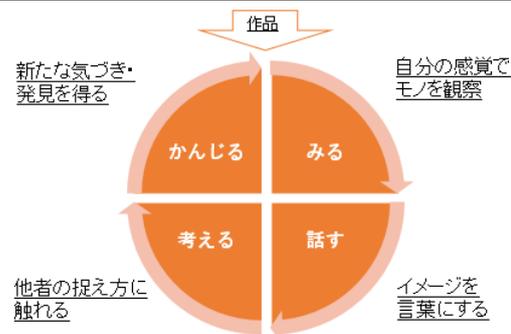
演劇やダンスを応用したワークショップを通して、身体表現やコミュニケーション、創造力、チームワーク、他者理解、自己肯定感が高まる。



- ★演劇の仮想的な世界を創造することにより抵抗感を和らげた状態で自己表現できる環境をつくる。
- ★個々の表現の多様性に触れ、普段の生活でのコミュニケーション力の向上につながる
- ★グループで一つの作品を創作することで、他者に触れ、他者理解や合意形成をとる経験をする。
- ★自らの発想と身体で発表し、他者から理解・評価を得ることで、自己肯定感が高まる。

<対話を通した鑑賞プログラム>

アート作品をみながら、発見や感想、疑問などを共有し、話し合うことで言語表現や観察力、コミュニケーション、他者理解、自己肯定感が高まる。



- ★他者に向けてイメージ（非言語）を言葉で表現することで伝達する力が向上する。同時に他者の言葉の表現への想像力が向上し、相互理解が生まれる。
- ★見ている作品に多様な見方、捉え方があることに触れ、他者理解、他者への寛容が生まれる。
- ★自身の捉え方を他者から理解・評価されることで、自己肯定感に繋がる。
- ★読書と同様に「朝鑑賞」の形で継続しやすい。

2 対象

長野県内の小学校、中学校、高等学校および特別支援学校

3 実施内容

(1) 期間

令和7年10月1日(水)～令和8年2月27日(金)

(2) 会場

原則、実施校の施設(教室、多目的室、体育館等)

(3) ファシリテーター

- ・「表現とコミュニケーション」プログラム

原則、長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業で活動実績がある別紙の者

- ・「対話を通した鑑賞」プログラム

県内美術館などの学芸員が所属を超えて活動するシンビズムワーキンググループメンバーのなかで対話を通した鑑賞のファシリテーターとして実績がある学芸員

(4) ワークショップの内容

学校や学級の課題・要望にあわせて、ワークショップ内容を決定します。

(例) ● 学校からの要望

対話・表現することに親しみ、他者（クラスメートや大人）と関わり合っ
て表現を創造することの楽しさや豊かさを学ばせたい。

● 授業の位置づけ

- ・学級づくりや人間関係づくりに生かすために行う→学級活動、エンカウンターなど
- ・教科の授業の中で行う→国語、体育など 総合的な学習の時間で行う

● 実施内容

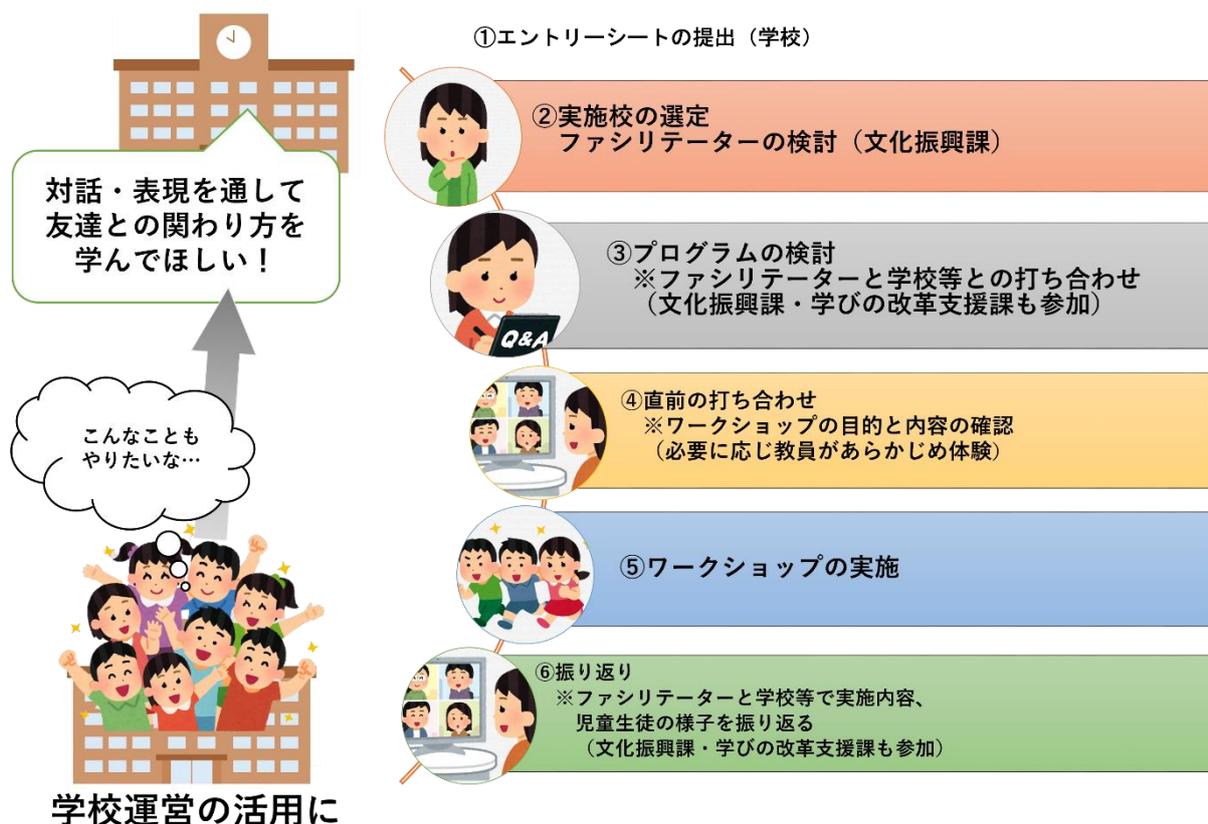
要望の達成に向けて次のキーワードを意識したワークショップを実施。

コミュニケーション力、表現力、創造力の向上 / 学級人間関係促進 / 楽しさ、喜び
他者との出会い、他者理解 / 一体感、達成感 / 自己肯定感 など

(5) 実施までの流れ

具体的な流れは、別添リーフレットをご覧ください。

<イメージ図>



4 各プログラムの経費負担・募集校数

プログラムの種類	県/ 信州アーツカウンシル※1 が負担する経費	実施校が 負担する経費	WS 回数	募集校 ※2
「表現とコミュニケーション」 プログラム	ファシリテーターの 謝金・旅費 <u>(原則として 10万円を上限とする)</u>	・ <u>10万円を超える 旅費及び謝金</u> ・その他の経費 (消耗品代等)	1～複数 クラス 1回～ 3回程度	6校 程度
「対話を通じた鑑賞」 プログラム	ファシリテーターの 謝金・旅費	その他の経費 (消耗品代等)	1クラス 1回	2校 程度

※1 「表現とコミュニケーション」プログラムは県が主催し、「対話を通じた鑑賞」プログラムは信州アーツカウンシル(一財)長野県文化振興事業団が主催しています。

※2 応募状況等によって、募集枠の校数は増減する場合があります。

5 経費の目安

謝金…ファシリテーター1人当たり 6,600円/1時間

旅費…長野県の規定により支給

【参考(「表現とコミュニケーション」プログラムの場合)】

当該事業の実時間(目安)

当初及び直前打合せ(オンライン)	2時間
ワークショップ実施(1回)(準備・片付けを含める)	2時間
振り返り(ワークショップ当日に実施)	1時間

例1 1回のワークショップを、ファシリテーター2名で行う場合 **約72,000円**

謝金	66,000円(上記の実時間5時間×6,600円×2名)
旅費	6,000円((自家用車使用・片道50kmの場合)3,000円×2名)

例2 1日1回のワークショップを2日間、ファシリテーター3名で行い、
打合せはファシリテーター1名で行う場合 **約150,000円**

謝金	132,000円(8時間×6,600円×1名、6時間×6,600円×2名)
旅費	18,000円((自家用車使用・片道50kmの場合)3,000円×3名×2日間)

※あくまでも参考額です。実施内容(時間やファシリテーターの人数)により異なります。

6 申込方法・申込期限

(1) 提出書類

別紙2-2「エントリーシート」に必要事項を記入の上、提出してください。

(2) 申込期限

令和7年8月29日(金)

(3) 提出先

長野県県民文化部文化振興課芸術文化係

メールアドレス：geijutsu@pref.nagano.lg.jp

メール件名：(学校名)「アートの手法を活用した学び」プログラム実施校のエントリーについて

7 スケジュール

令和7年8月29日(金)	申込期限
令和7年9月中旬	実施校及びファシリテーターの決定
令和7年10月1日(水)	事前打合せ・ワークショップの実施
～ 令和8年2月27日(金)	

8 留意事項

- ・この事業は、学校とファシリテーターとで伴走しながら実施する内容としているため、事前打ち合わせやワークショップ当日は必ず学校職員に同席・参加いただきます。
- ・プログラム実施後に、ご感想や実施後の児童・生徒の変化等をファシリテーターと共有するため、「振り返りシート(仮)」の提出を依頼させていただく予定です。
- ・長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業の一環の取組で行うため、近隣の学校の教員等による見学、県が委託する業者による撮影、メディアの取材等を行う場合がありますので予めご承知おき願います。

「アートの手法を活用した学び」推進事業について

長野県が、「長野県文化芸術振興計画」に基づき、県内の学校において、児童生徒がアートの手法を通じてコミュニケーション能力や表現力、創造力を学び育むことを目的に、実施しているプロジェクトです。(令和4年度まで「演劇による学び」推進事業として実施)

本事業の詳細および昨年度の教員向けワークショップの様子は、県公式ホームページや長野県文化芸術情報発信サイト「CLTURE. NAGANO」(カルチャー・ドット・ナガノ)に公開されていますのでこちらもご覧ください。

長野県ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/bunkashinko/art/hyougen.html>



長野県文化芸術情報発信サイト「CLTURE. NAGANO」(カルチャー・ドット・ナガノ)

<https://www.culture.nagano.jp/special/8688/> (表現とコミュニケーション)

<https://www.culture.nagano.jp/special/10425/> (対話を通じた鑑賞)

(表現とコミュニケーション)

(対話を通じた鑑賞)



9 問い合わせ先

(1) 「アートの手法を活用した学び」推進事業全般・本プログラムの費用負担等に関すること

○長野県県民文化部文化振興課 芸術文化係 (担当 春原)

電話 : 026-235-7282

メール : geijutsu@pref.nagano.lg.jp

(2) 授業への導入に関すること

○長野県教育委員会事務局学びの改革支援課 義務教育指導係 (担当 小林)

電話 : 026-235-7434

メール : kyogaku@pref.nagano.lg.jp